

平成 29 年度の普及啓発の実践に向けた取り組み（案）

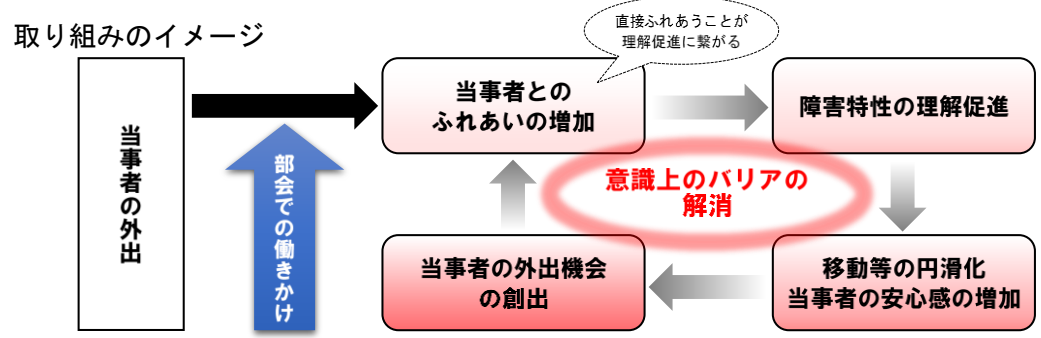
1. 目標の共有

＜市民部会の目標＞ ※平成 28 年度第 2 回市民部会 配布資料 再掲

市民部会では、だれもが「出かけられる」、または「出かけたたい」と思える社会の実現を目指し、高齢者、障害者等の「移動」や「施設利用」に係る意識上のバリアを取り除くための取り組みを行います。

具体的には、市民部会が主体となって、市民や事業者等の根底にある意識に働きかけるような普及啓発を実践することによって、高齢者、障害者等のさまざまな特性や特徴に関する“理解”を促進するとともに、“気づき”や“行動”につなげていくことを目的とします。

活動の実践にあたっては、必要に応じて関係部局や様々な団体と協力・連携するなど、広がりのある効果的な取り組みを目指します。



高齢者、障害者等を含む多くの市民の外出機会を創出し、まちなかやイベント等で交流することで、当事者への気づきのきっかけをつくるとともに、高齢者、障害者等のさまざまな特性や特徴に関する理解を促進し、意識上のバリアの解消を目指します。

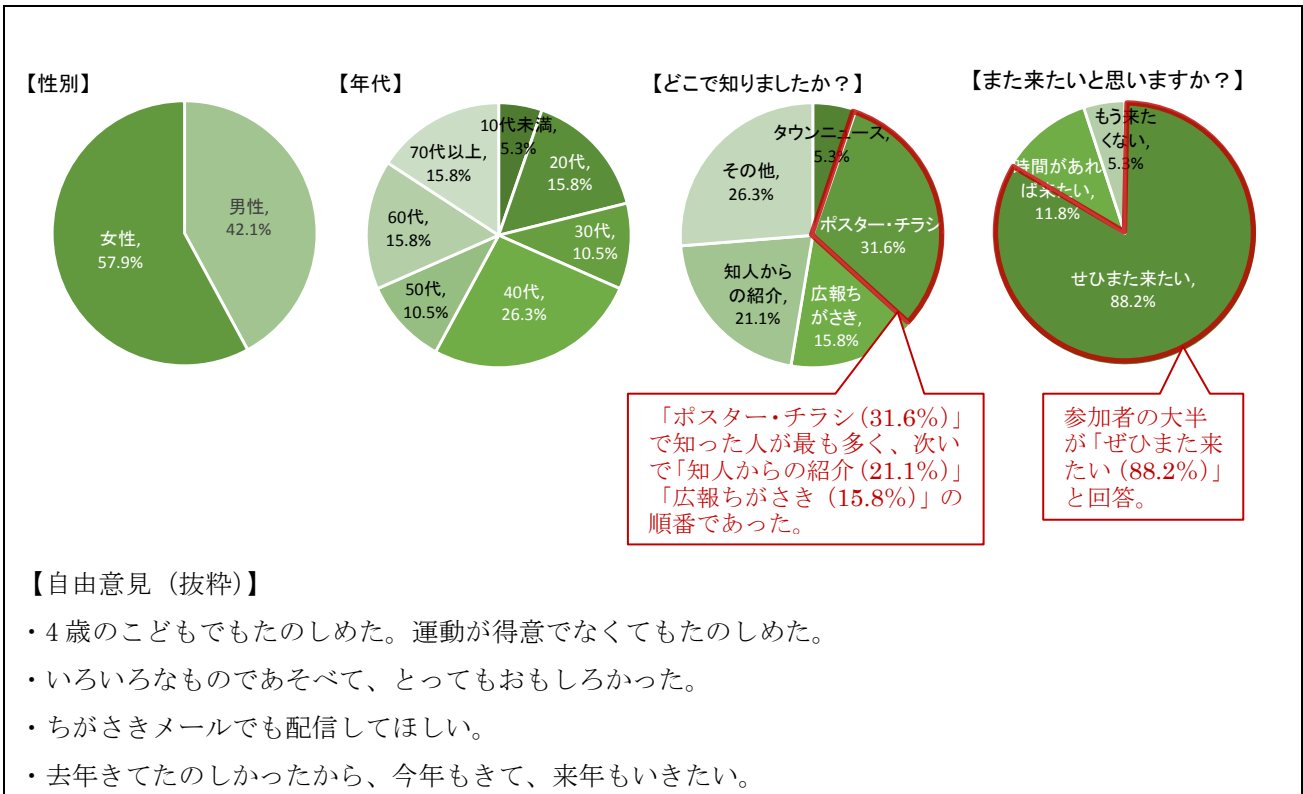
■茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバル

＜開催の趣旨等＞

障害の有無や体力・体格に関係なく実践できるスポーツを介して市民交流の機会を提供する。障害者に対するスポーツ、運動の機会の提供を行い、障害者活動の理解を深める。

平成 28 年度の実施概要	
日 時	平成 28 年年 11 月 12 日（土）10 時～15 時
場 所	茅ヶ崎市総合体育館 第 1 体育室
実施競技	卓球（9 卓、サウンドテーブルテニスあり）、ファミリーバドミントン（3 面）、スポーツ吹き矢、ポッチャ（2 面）、輪投げ、フライングディスク、ダーツ
実施方法	各種目指導員及び係員を配置し、参加者が自由に体験できる形式をとる。スタッフは一人参加の対戦相手やゲーム形式の際の審判役を担う。
関係者	主催/公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 後援/茅ヶ崎市、茅ヶ崎市レクリエーション協会 主管/茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバル実行委員会 協力/茅ヶ崎市身体障害者福祉協会、茅ヶ崎手をつなぐ育成会、茅ヶ崎市肢体不自由児者父母の会、茅ヶ崎市スポーツ推進委員協議会、茅ヶ崎市スポーツ吹き矢協会、茅ヶ崎レクリエーション卓球連盟
参加実績	H28：103 人、H27：137 人、H26：149 人、H25：132 人

<参加者アンケート結果（平成 28 年度参加者：103 名、うちアンケート回答者：19 名）>



<主催者側で認識する課題>

- 参加者が少ない（その反面、大勢来場した場合参加種目が少なくなることも懸念）
- 効果的な PR 方法が確立されていない
- 障害者スポーツ専門の指導員を配置したい（まずは参加者の増加が必要）

2. 取り組み案 ※黒字は既存の取り組み, 黄色マーカーは市民部会の提案

①茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバル		
項目	取り組み内容	
日時	・11月第2土曜日 10時～15時	
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎市総合体育館 第1体育室 ・総合体育館の全棟を貸し切り様々な取組を展開 ・競技特性に応じたゾーニング、もしくは時間帯で競技を分ける ・企業（TOTO）の体育館やグラウンドを使用し社員の参加を促す ・サザンビーチをフィールドにマリンスポーツやサイクリング（タンデム自転車）等を実施 	
実施競技	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球（9卓、サウンドテーブルテニスあり） ・スポーツ吹き矢、ボッチャ（2面） ・フライングディスク ・車いすバスケットボール ※ルールは障害者スポーツのものを適用したうえで障害者と一般の方が対戦 ・ファミリーバドミントン（3面） ・輪投げ ・ダーツ 	
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目指導員及び係員を配置し、参加者が自由に体験できる形式をとる。 ・スタッフは一人参加の対戦相手やゲーム形式の際の審判役を担う。 ・優勝者には賞品を準備するなど、インセンティブを与えることで一般の方の参加を促す。 ・会場内のマップを作成（案内の充実） 	
関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・主催/公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 ・後援/茅ヶ崎市、茅ヶ崎市レクリエーション協会 ・主管/茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバル実行委員会 ・協力/茅ヶ崎市身体障害者福祉協会、茅ヶ崎手をつなぐ育成会、茅ヶ崎市肢体不自由児者父母の会、茅ヶ崎市スポーツ推進委員協議会、茅ヶ崎市スポーツ吹矢協会、茅ヶ崎レクリエーション卓球連盟 ・協力団体として「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会 市民部会」が参加 ・大学生などにもボランティア活動を通じて参加してもらう 	
その他	イベントの周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ちがさき、タウンニュース、ポスター・チラシ、障害者団体や子ども会への周知 ・SNSなども活用し拡散型の効果的な周知方法も取り入れる ・子どもや家族連れをターゲットに小中学校でのチラシ配布 ・一般のクラブチームに参加を呼び掛ける（バスケ等）
	同時開催	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食を提供（福祉祭り等で既に実績のあるものやキッチンカー等）
	継続・展開	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時にJ:COMに取材に来てもらい、市の広報番組等で放送してもらう。 ・イベントにおける映像コンテンツを蓄積し、啓発活動や次のイベント周知のための素材として活用する。

②おしゃべりサロン		
項目	取り組み内容	
日時	・適宜	
場所	・高齢者サロン、子育てサロン、まちぢから協議会等との連携 ・民間店舗	
実施目的	・高齢者、障害者等の外出機会の創出、居場所づくり ・当事者との交流による理解促進	
その他	イベントの周知方法	・SNSなども活用し拡散型の効果的な周知方法も取り入れる ・子どもや家族連れをターゲットに小中学校でのチラシ配布
	同時開催	・高齢者サロン、子育てサロン、まちぢから協議会 ・茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバル ・市内開催の祭り等
	継続・展開	・開催時にJ:COMに取材に来てもらい、市の広報番組等で放送してもらう。 ・映像コンテンツを蓄積し、啓発活動や次のイベント周知のための素材として活用する。

3. 検討事項

上記取り組み（案）に加えて、普及啓発活動をより効果的に実施するために、検討事項をまとめました。市民部会の目標である当事者の外出機会の創出により、市民等とのふれあいが増加することで、気づきのきっかけや障害特性の理解促進、意識上のバリアを解消していきます。

項目	検討事項
実施内容	・市民、当事者が「参加したい」「行きたい」と思わせる内容 ・市民、当事者のふれあいを増加させるための内容 ・市民部会主体で実施できる内容
集客方法	・効果的なPR方法（対市民、対当事者） ・当事者の外出状況等の把握、必要なサポートの実施
協力連携	・既存の取り組みとの連携の可能性
継続展開	・効果を高めるための継続方法、展開方法